



SGH課題研究「グローバル課題4領域について知り、気づき、探る学習」

ーグローバル課題4領域の概要を知り、その現状や課題に気づき、解決策のヒントを見つけるー

「環境・エネルギー」「医療・福祉」編**開催概要**

グローバル課題研究「4領域学習」として、実施済の「国際開発」「国際ビジネス」に続き「環境・エネルギー」「医療・福祉」の外部講師講義を開催した。

◆ 学習のねらい

- ① 専門家による講義の内容から、この領域の現状や課題について理解する。
- ② 「わかったこと」「もっと知りたくなったこと」という観点から講義を振り返り、今後の各領域の調査研究への意欲につなげる。

◆ 参加者: 啓明コース1年生(計112名)

◆ 場 所: 中部大学春日丘高等学校 東校舎2階会議室

「環境・エネルギー」専門家講義

◆ 日 時: 平成30年7月7日(土)3、4時限

◆ 講 師: 中部大学 加々美 康彦氏

「医療・福祉」専門家講義

◆ 日 時: 平成30年9月8日(土)3、4時限

◆ 講 師: 中部大学 新美 純子氏

当日の流れ

- ① 講師が講義(情報提供)を行い、生徒は講義メモを取りながら話を聞いた。
- ② 生徒は5、6人の班に分かれ、講義を聴いて「わかったこと」「もっと知りたくなったこと」をまとめた。
- ③ 各班の代表者が質問をし、講師に可能な範囲でお答えいただいた。

「環境・エネルギー」専門家講義**《講義の内容》**

- ・地球が温暖化の傾向にあることは明確だが、その原因は必ずしも明確ではない
温室効果ガス説に基づいた国際的な対策が進められている
- ・温室効果ガス排出量削減からみ、環境問題がビジネスに
- ・各国がパリ協定を順守せず、温暖化がさらに進んだらどうなるか？
→この事態を見据えて行動している人々 北極海航路整備・グリーンランドの資源採掘
- ・世界には先を考えて行動する人たちがいる 君たちもフォロワーではなくリーダーになろう

《質問と応答》

Q:地球温暖化は止めるべきだと思いますか？

→A:温暖化の原因が天変地異ならばともかく、人為的なものと確定するのであれば止めるべきでしょう。

Q:環境問題で今最も解決に近いものは何ですか？

→A:フロンガスの問題は条約によってきれいに解決しました。これについては面白いので調べてみてください。



講義の様子



講義の様子



質疑応答の様子

■ 「医療・福祉」専門家講義

《講義の内容》

- ・今後日本の人口は減少していく 経済力の低下、国としての存続の危機
- ・生産年齢人口の減少→各産業における人材が“枯渇”
- ・外国人人材との共働のための課題
 - コミュニケーション 病気の理解の違い 家族関係の違い 文化の違い
- ・自分は社会全体で外国人労働者を支えるための共生モデルの作製を進めている
 - バディ制度 外国人と地域にすむ日本人が1対1のバディ(相棒)となる
 - 外国人自身が日本の生活を理解し、医療・福祉の現場で日本人と共働していく

《質問と応答》

Q:外国人との文化の違いをご自身が感じることはありますか？

→A:しばしばあり、戸惑うようなできごともあります。しかしそれがフィールドワークにつながるのです。

Q:外国人を受け入れるにも、言葉が通じないときはどうすればよいのですか？

→A:ジェスチャーを使えばコミュニケーションが取れます。相手を思う心が大切です。



講義の様子



講義の様子



質問をまとめる生徒と講師

■ 生徒の感想

環境・エネルギー

- ・温暖化のような問題をビジネスにしている人がいると知り、とても驚いた。
- ・温暖化を完全に止めることを目標に設定したときに、自分たちになにができるか考えていきたい。

医療・福祉

- ・日本が外国人労働者を受け入れていなかったと知って驚いた。その理由を知りたいと思った。
- ・外国人が口コミで広めてくれるような日本の魅力について、どんなものがありえるか考えていきたい。